

図書館だより

(1)

2001.12.17

九里祭参加 10月12~14日

ハリー・ポッターワールド

主催：図書委員会

ファンタジーの世界を
借りてこそむき出しに
なる人の姿

3年 松尾 美香

今年の九里祭テーマは、人気の「ハリー・ポッターの世界」でした。この本は、イギリスで出版されました。間に世界四十ヶ国以上で読まれている大ベストセラーです。

私達はまず委員全員がハリーポッターシリーズ三巻を読むことから始めました。そして、全員が「これは

面白い」と折紙をつけました。

思いもつかない発想がつぎつぎと出てきて驚かされるから

です。組み分け帽子や百味ビーンズ、簪はニンバスという

性能で、教科書は「呪文集」「魔法史」そして元気爆発薬

です。夏休みから、私達はハリーポッターと名がつけば

何でも見てみるという状態

で、関連書を読み漁り、インターネットで調べています。とりわけ、「教えてハリーポッター」の班は、本を

附箋だけにして、「この質問の答えは何ページだっけ」という声は毎日館内をとびかっていました。そして、余裕をもつて始めたはずが、前日までなれこむといふものの

私達はすごく嬉

パネルと壁を埋めつくしました。手作りローブと魔法使いの三角帽子と百味ビーンズが並べられ、ハリー・ポッターの世界が出現しました。宣伝

のため委員の一人が魔法使いの仮装をして校内を歩き回ったせい

もあってか、沢山の人

に来ていました。「ハリー・ポッターが読みたくなった」と

した。「ハリー・ポッターが

世界を楽しんでください。

しかったし、達成感がありました。

ハリー・ポッターが火付け役となつて、今、ファンタジーが大ブームです。空想の世界でのびのびと楽しめるこ

と、それがブームの原因だと私達は考えてきましたが、この展示を終えて別の考えもでてきました。登場人物の行動や考え方は誰もが現実に体験することを凝縮していると思うのです。ファンタジーという世界を借りてこそむき出

しにはつきり見える「人の姿」、これこそ私達をひきつける理由なのではないかと思

うようになつたのです。皆さん、今こそ、ファンタジーの世界を楽しんでください。

九里学園高等学校
図書委員会
印刷(株)川島印刷
TEL 21-5511(代)



新潟 中越高校図書委員と交流

良寛の里で俳句会 委員研修旅行 7月7日・8日

研修旅行が今年の七夕の日に行われました。今年は新潟の中越高校との交流会と、良寛の里を訪ねるものでした。途中、郷里会津の風景を版画に残した齊藤清の世界に触れました。雪の白と柿の朱が印象に残りました。

もと、ゲ
がなごや
した。中
入れてい
HIVA
等があり
書があり
曜日は完
交流会
ミタージ
世界の名
示と大規
ヤーチョ
出雲崎
沈むとて
した。そ
ちなみ、
碧」が選
他恋の句
られまし
次の目

ループでの
かなムードで
越高校は、
ないような
「」や「S.i
ました。ま
ました。そ
全休日だそ
後、美術館
「エ展」をさ
作りが一堂に
模な美術館
も美しい夕
の夜民宿で
ツクを受けて
の民宿では
の夕闇溶か
ばれました
等すばらし
た。
た。良寛の

の足跡をた
下で進みま
九里では
な雑誌「C
ster」
よた、朝読
として、土
うです。
話で「エル
見ました。
に会した展
始にカルチ
ました。
は日本海に
日を見ま
て、七夕に
行われまし
かして海の
たが、その
い句が作

どりました
らいた出で
雄大な海
も美しか
は銅像と
で海を見

た。良寛が悟雲崎の、豊かをのぞむ場所をつめたのです。今なりおだやかづめています

ました。また、ボランニを町立図書館へ送ることで、この発表では賛成反対して

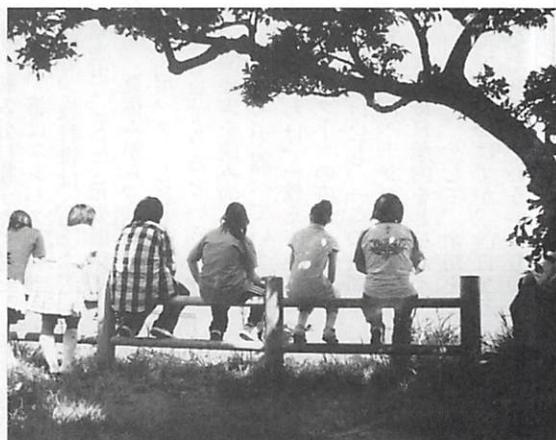
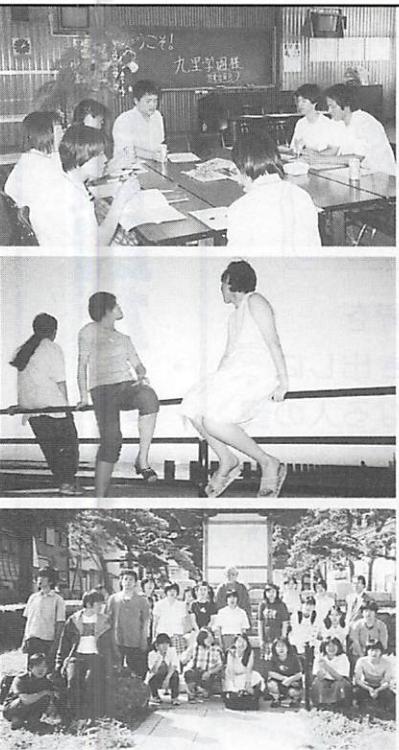
デイベ 何故、勝

ト（討）勝ち敗け

夕鶴の里で 地区図書

論)では を決めこ 委員研修会

るのか
云
9月18日



夕鶴の里で

地区図書委員研修会

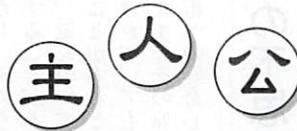
9月18日

いました。我校のような集団で読書会を行っている高校は意外と少ないと思いました。

そして私は、他校の図書委員を見て反省し、少しひきしまる思いを抱いてきました。

ディベート（討論）では

私の好きな



運命に逆らわないところに

優雅さと強さ

三一七 油井 衣世

遠藤周作「マリー・アントワネット」

灰色がかつたブロンドの髪
薔薇色の頬、愛らしい笑顔。
私は、ヴエルサイユに咲いた
華麗な花と呼ばれたマリー・ア
ントワネットが好きだ。彼女
には女性を象徴するような言
葉をいくつも持ち備えている
と思う。美・富・高貴さ。
そんな彼女は元々オースト
リアの王妃であった。フラン

スとの友好関係を結ぶため、
十四歳の時にルイ十六世の元
へ嫁いだのだ。人々の希望を
のせて。しかし、そんな事
とは裏はらに、贅沢な宮廷で
の生活、夫以外の男性との関
係。やがて、フランス市民の
怒りや反感を買ひ、最後には
断頭台へと消える悲劇的な生
涯。でも彼女は負けなかつた。
たとえどんな事が起ころうと
も、運命に逆らわ
ず、いつも優雅で
美しくあろうとす
る。ここに私は女
としての生き方、
あり方を感じた。

そして何より、
全てを失おうとし
ている者にだけ漂
う魅力を見たよ
うな気がする。それ
は美や権力ではなく
く「強さ」である
と思った。

確かに彼女は表
面的に見れば遊び

ほうけの軽
薄な女性で
あつたかも
しないが、
彼女の本質は
本当に高貴で
優雅な強い女
性であると思
う。だから私
は彼女が好き

達と同じ高校生が主人公公の本でした。が、少しテーマが難しく、グループに分かれて話し合いをしていました。私は、協力して意見を出しあっていたようでした。中でも、「勉強ができない」と自分で思っている人はなぜやろう

10.20 於 九里学園



三校合同読書会

さわやかな主人公秀美の高校生活を見る
75名の参加で大盛況
山田詠美著「ぼくは勉強ができない」

ともせずにそうわかるのだろうか」という質問などに対しても、わりと多くの意見が出ました。「努力しても成績が上がらないと思つてしまつているから」「将来役立たない勉強だから」などの意見が出されました。作品内に多く出てくる「性」について考えるところでは、媚というものを売る対象が、男子は先生、女子は友達に売るというように男女は考え方の視点も違うということがわかりました。異性に売るという人はいませんでした。途中からタイトルが「ぼくは勉強ができない」から「僕は勉強ができる」に変化していく。勉強ができるという事は、何も国語や数学などの学力のことではなく、精神的な面でのことでもあるとみんなは考えていました。

参加者が七十五名という大勢だったにもかかわらず、今私達が生きる時代がテーマだつたためか、私にとってもみんなにとつても今回の読書会は新鮮で充実した時間だったのではないでしょうか。

(一年 小野香保里)

2001.12.17

一つ、誰が……
タイプライター
が出来るまで



書物の不思議
〈その10〉

その10

私は、どちらかというと読書よりも体を動かしている方が好きです。幼い頃から、暇さえあれば外へ出て、友達と一緒に海や山や川へ行き、自然の中で探検したり、崖に登ったり、木登りをしたり、雪合戦をしたりして遊んでいました。自然からたくさんのこと学びました。しかし、そんな私も読書に熱中することがありまます。それは、遊んでいて不思議に思ったことがあるときです。いくら疲れていても無我夢中で読みます。その原動力です。この宇宙への好奇心な

(読書の楽しみ)

一人一人が大切な
人類のリレー選手だ



高橋元樹 先生

九月に同時多発テロがおこった。この自爆テロを行つたのがイスラムの過激な組織アルカイダを指導するビンラディンということ以外、この事件のことを説明できる人はあまりいないと思う。

し合おうということで急速開かれた。ビンラデインのやつていることはイスラムの教えに反していることや、何故本はアメリカに協力するのか等を社会の先生方から説明していくいただき早速話し合った。

することは又同じく犠牲者を出すのだ。人を殺す戦争にどちらが正しいということはないのに、アメリカは正しいと思ってるので尚更嫌いになつた。

正しい戦争と
思い込んでいる

アメリカはどこかおかしい

という質問に対しても
ちゃんと受け答えもでき
ていてそれに意見も
すぐに出たりと自分の
入る余地が無い位の活
気があつた。

うことだった。私は、少し違った意見としてタリバンが大國アメリカにどうすれば自分たちの主張がわかつてもらえるかといった感じの質問もあつたら良かったのではないかと思った。



編集後記

ました。九里学園創
立百周年目の図書館だ
りをお届けします。
しめる内容になつた
思いますので、ぜひ
も御一読ください。

統なことは思えない
がテロはやはりやつて
はいけないとと思うとい